

広報のひろべ

登別市民憲章

親切をつくしきまりを
守って明るく住みよい
まちをつくりましょう

●No.222 ●毎月1日・15日発行 編集発行/北海道登別市総務部公聴広報課



晴れやか受賞者

市功労者・市民表彰式

菊薫る「文化の日」の3日一、ぐずつき気味であった天候も久し振りに晴れ上がった好天気にも恵まれました。

この日は、永年にわたり地方自治や教育文化の発展に尽くしてこられた功労者の表彰式が行われ、一方では、文化の日にふさわしい行事が繰り広げられました。

写真は、中央公民館で行われた市功労者および市民表彰式のもようです。

11. 1976
15

永年の功績をたたえ表彰

登別市功労者 表彰式



後藤四郎さん

昭和五十一年度の登別市功労者表彰条例にもとずく、市功労者一人と、登別市表彰規則によるところの市民表彰受賞者八十一人が決まり、十一月三日の文化の日に中央公民館二階ホールで、その功績をたたえる表彰式が盛大に挙行されました。

市功労者として、ただ一人表彰を受けた市消防本部の後藤四郎消防長(五三)は、市職員として三十年以上勤務、卓越した指導力と一貫して市民に信頼される吏員として努力され、今日の登別市の布石をなした功績が認められ、今回の受賞となったものです。また、登別市表彰規則にもとず

く市民表彰受賞者は、永年にわたる機軸的活動と目に見えない日ごろの活動が認められたもので、自治貢献表彰一名、社会貢献表彰五十一名、教育文化貢献表彰四名、篤志貢献表彰二十四名、善行表彰一名、合計八十一名の受賞者が選ばれました。

自治貢献者

●町内会長―深瀬泰一

社会貢献者

●納税貯蓄組合長―菅原達雄、谷崎今造
●たばこ販売業者―伊藤好美、太田栄子、横関ヨシ、大村英雄、室蘭生活協同組合旭ヶ丘ストア

●志田テル子、原比佐子、広瀬勝美、小林とよみ
●保護司―安藤明
●医師―黒坪弘毅、千葉寿良、内海寿彦、吉原暁

●歯科医―廻忠
●のぞみ園訓練士(理学療法士)―秋元久美

●看護婦―堀口喜美栄、北田トミ和泉セツ子
●マッサージ指圧師―松本松雄、船場義晴、飯島英、棚内レイ、棚内喜久雄、小山千世、桜井正春、西田哲治、三河歌子、小倉秋男

●助産婦―伊藤シゲ
●臨床検査技師―江村忠義、堀口広志

●学校歯科医―田中満佐雄、浅沼専次郎
●火災予防運動の推進―富浜町内会工藤角藏、あかしや町内会笹森義明

●技能者―丸山龍男、吉岡栄

●カルルススキー場パトロール員―伊藤高、丸山一、竹浪継二
●メイド―竹本ふじ子、菅原ヨネ
●心身障害者優良雇用事業所―北海道自動車板金岡宮沢清吉
●災害復旧、市要請工事等―陸上自衛隊輓別駐とんど地司令寺田大人
●郵便局集配業務従事者―佐藤勇男、熊谷時松、澤正彦

教育・文化貢献者

●野球連盟審判員―坂本武
●文化協会俳句部顧問―白井弥六
●文化協会書道部会長―菊地重雄
●登別歌人协会会长―堤道彦

篤志貢献者

●登別砂利協同組合代表理事藤田



須賀武夫さん

登別温泉美化などで

大臣表彰



高野貞治さん

行政管理庁長官表彰

高野貞治さん(六八) 行政相談員、富士町一丁目一九番地二

須賀武夫さん(六一) 登別温泉連合町内会長、登別温泉町一六二番地

永年の自治行政に従事した後、行政相談員として、諸官庁のことで苦情のある市民の親身な相談相手として尽くされました。



佐々木勇司さん

厚生大臣統計功労表彰

佐々木勇司さん(四二) 市役所市民課長、片倉町四丁目一番地三

昭和二十七年戸籍室勤務以来、二十三年以上にわたり、市内人口動勢調査事務について研究を重ね管内の担当者会議などで指導的役割を務め、完全な調査票作成に優秀な成績を収められたことが高く評価され表彰されました。

全国戸籍事務協議会長表彰

奥山繁子さん(三六) 市役所警別支所勤務、警別町三丁目一九番地一〇

永年にわたり戸籍事務に従事し戸籍事務の向上発展に尽くされました。

道社会貢献賞と

卓越した技能者

社会貢献賞

室久吉さん(六三) 登別市議会議長、警別町六丁目二八番地

昭和二十一年の村議会初当選以来、現在までの八期にわたり議員活動を続け、また社会教育委員、体育協会会長、監査委員など数々



展示品の質、量とも向上した地区展＝写真はひまわり国会場＝

漂う芸術の香り

盛んだった市民文化祭

の要職を歴任、登別市の発展に大きく貢献された功績が認められ受賞されました。

卓越した技能者

松見孝吉さん（六四） Ⅱ 建具職人、中央町一丁目八番地 Ⅱ

建具職人として、現在までの五十数年におたり建具製作に技能を磨き、仕事に対する創意工夫を積

極的に採り入れ、技能の向上に貢献、後進の指導にも尽くされました。

小川定男さん（五〇） Ⅱ 日本製鋼所、登別温泉町三番地 Ⅱ

大型クランク作業の仕上げ作業、ランナー、原子力圧力容器の精密作業において米岡、欧州から高く評価され、産業界に大きく貢献されました。



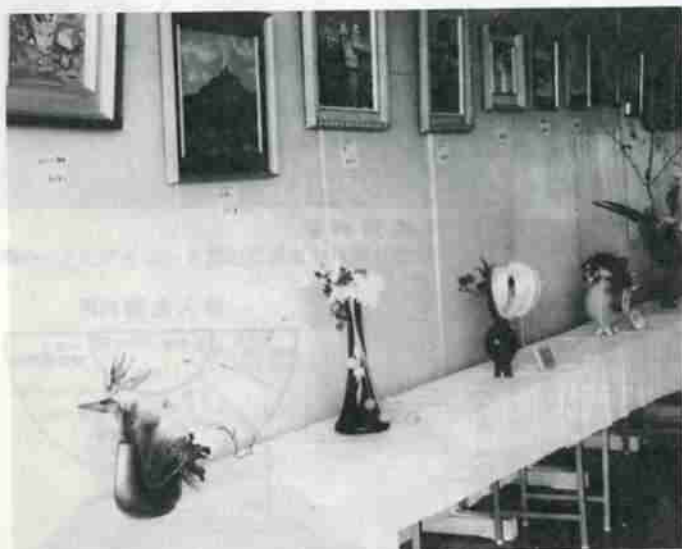
市民の作品を鑑賞する市長らと社教関係者

芸術の秋を彩る恒例の市民文化祭は、十月十七日の市民音楽祭を皮切りに、中央公民館など各地区の会場では、日頃の努力の成果を示し、見ごとな作品を披露していました。

十一月十四日の子供音楽会を最後に、約一カ月間、メイン会場の中央公民館では、ステージ部門、展示部門の各種発表を、また、各地区展では、児童の絵画、写真、木彫工芸品、陶器、生け花などを披露し、作品は内容、量ともに高度の水準に達してきました。

昭和五十年から市民サイドの文化祭に切り変えて、さらに市民の関心が高まりをみせ、本年度は謡曲、長唄、北のまつりポスター展、自衛隊音楽隊発表会、胆振芸術祭写真展が新しく登場し、お年寄りが今昔教室で作った魚拓、創作和紙人形展も参加して、訪ずれた市民の目を楽しませていました。

さらに、市民サイドの文化祭が充実、発展していくよう期待されており、登別文化の向上、熟成が望まれています。



中央、道内で活躍している市内の美術家たちの作品が多く展示された絵画展。いけばな展も同時に行われました



一流演奏家を招いての音楽祭。本物の音色に来場者は感激

ものを大切にしましょう



資源の節約、豊かな社会

ガスを使う室内の換気を



火を使うへやには換気設備をしましょう

来春開校を目前とし、急ピッチで
工事が進められている梶別西小分
校新築工事現場



市の財政事情②

市では毎年2回財政事情をお知らせしておりますが、今回は2回目として51年度予算執行状況及び50年度決算見込額をお知らせします。

昭和51年度予算執行状況 (昭和51年9月30日現在)

○一般会計

歳 入		一般会計予算総額八〇億四〇、三二一千万円	歳 出	
708,063千円 (48.4%)	市 税 (1,461,523千円)		土木費	462,669千円 (24.8%)
571,500千円 (31.5%)	国庫支出金 (1,816,993千円)	民生費	558,571千円 (44.6%)	
871,186千円 (73.3%)	地方交付税 (1,188,959千円)	教育費	152,793千円 (10.5%)	
	市 債 (1,522,700千円)	総務費	737,894千円	
11,836千円 (17.1%)	財産収入 (69,016千円)	公債費	201,105千円 (47.4%)	
28,229千円 (19.7%)	道支出金 (143,115千円)	衛生費	84,685千円 (22.6%)	
	繰入金 (221,000千円)	給与費	692,744千円 (50.5%)	
93,417千円 (7.2%)	諸収入 (1,304,647千円)	その他	320,758千円 (57.7%)	
125,389千円 (40.1%)	その他 (312,358千円)			
収入済額	2,409,640千円 (30.0%)	支出済額	3,066,076千円 (38.1%)	



年々増加する人口の住宅難解消のため、本年度公営住宅建設事業は、総額8億2,484万円を投入178戸（内96戸は継続事業）の建設を行い住宅不足の緩和を図っています。写真は梶別東団地。

市債現在高



目的別内訳

借入先別内訳



特別会計総計

区 分	金 額 千円	執行率 %
歳入	1,246,528	-
歳出	306,708	24.6
予算額	431,889	34.6

市有財産の内訳

土 地	建 物	金 員
3,799,004.94㎡	128,574.79㎡	206.047千円

特 別 会 計

国民健康保険特別会計



観光事業特別会計



学校給食事業特別会計



上覧別東部地区土地区画整理事業特別会計

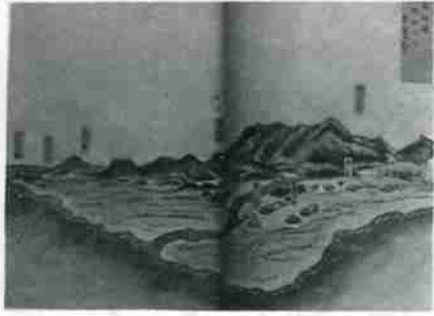


□ 予算額 ■ 執行済額 (%) 執行率

郷土史探訪⑧

一度消えた幌別

登別市でいちばん古い「歴史」を持っているのは、最近まで幌別本町といわれた辺りである。アイヌ神話に出てくる。歴史以前なら登別温泉が尻貴分だらうけれども、特に和人が住みついたのは、松前藩時代における「幌別場所」の中心地として、運上屋まで置かれた本町が最初である。それも文政五年（一八二二年）というから、つい百五十年ばかり前からのことだが、それ以前は、春秋の二期、松前藩から編綴船が往来してアイヌの人達との交易をする程度で、和人の定住者は無かった。



延叙歴換真図 HOROBETSU

筆者 目賀田守隆 安政二年、前田夏隆とともにえぞ地志料の編さんを命じられ、安政三年から五年にかけて市川十郎などと協力して各地の絵図を作成した。

(函館図書館所蔵)

この点では、日高地方や、同じ胆振でも鶴川や有珠、虹田よりはるかに遅れていた。文政四年（一八二二）に、いったん幕府へ召上げられた東エゾ地の領有権を松前藩に返された時、同藩は、幌別場所を家臣の細界長左衛門の知行所として与えた。

細界は、自力で交易船を仕立てるほどの資金を持たなかった。函館の商人山田屋治兵衛に請負わせて、彼からの冥加金（藩の課税に準ずるもの）で生活費をまかしたのである。

こうして幌別場所を請負った治兵衛は、春秋二期の交易の利益だけではうまみが少ないので、地元アイヌを使って漁獲や加工をさせることにし、数人の和人を派して幌別に運上屋を設けた。

この運上屋というのは、藩に運上金（藩士の場合は、これに準ずる冥加金）を納めて場所を営営する者の本拠だから、そう呼んだのだが、これを藩が直接設ける会所と混同し、一般には会所と呼んだため出版物には、幌別会所と書かれている。

それはともかく、安政二年（一八五五年）に徳川幕府がまたもや松前藩からエゾ地の大半を返上させたことは前にも記したが、同六年奥羽六藩に全エゾ地を分与した時幌別場所は、絵鞆、有珠、虹田の各場所とともに南部藩の領地となっていましたので、当時幌別場所の経営を誰がやっていたか不明であるが、とにかく付近各場所の情勢から考えて、かなりの和人が幌別に定住していたことと推測される。

いづれにしても幌別本町には、百五十年前から、ずっと続いて和人が住むようになったことだけはハッキリしている。おもしろいのは、この幌別に和

人はもちろん、一人のアイヌもいなくなつた時期がある。それは、寛保元年（一七四一年）七月この地方一帯が大津波に襲われ、幌別がもつとも被害が大きかった。

人家がごとく波にさらわれて、その後明治五年（一八七二年）まで二十数年間、まったく無人の廃村になっていたのである。当時この場所が、松前藩の誰の知行所だったか不明だが「津軽一統志」という古文書に、寛文九年エゾ乱（シャクシャインの乱）を記したうち「エトモよりノボリベツまで金子市左衛門商場（あきないば）」とあるから、その後も引き続き家臣金子氏の知行場所だったのであろう。

仮にその後、他の家臣の知行場所となつたにしても、本人にしてみれば、自分の知行所に一人のアイヌもいなければ、交易もできない訳だから、自費でまかなつたか藩の補助を受けたかはわからないが、明治五年日高国から数戸のアイヌを招いて、幌別に住ませることにした。

つまり、大津波でいったん滅亡してしまつた幌別ではあつたが、これにより、再起したわけであつた。

津波の被害というものは、入江とか湾になつている地点がひどいので、幌別海岸のような直線の浜には、それほど大きい津波の被害があるとは思われないのだが、何しろ昔のアイヌの人達は、海岸近くの砂浜に家を建てたもので、現に今の国道筋から一・二町も海に寄つたところに幌別コタンが点在していたのだから、そういつた不運を招いたわけであつた。

(市立図書館Ⅱ郷土史料室)

「市民みんなの交通安全」の二回目は、登別自動車教習所で、路上に出て教習している三人の方に運転をして気付いたこと、運転者としての心構えをお聞きしました。

市民みんなの交通安全②

「私は交通事故に会わないよう、このようにしています」「歩行者、ドライバーへ一言」など、みなさんのご意見をお寄せください。

☆宛先 〒059-003 登別市中央町六丁目十一番地 登別市役所 公聴広報課（電話5局2111内線220）



榎本 照男さん 無職 35歳 登別東町三丁目五番地二

歩行者教育を町内会ぐるみで、子供から老人まで行なつてほしいと思います。

運転するときは「歩行者優先」を守り「だいたいようぶだろう」と言う「うたろう」運転は、絶対したくないですね。



佐々木好江さん 主婦 26歳 登別東町五丁目二六番地一〇

最近、自転車を持つている子供が増えてきていると思いますが、学校ばかりでなく、幼稚園からでも指導した方がよいと思います。

車の運転には、ゆずり合いの気持が必要だと思います。ドライバーが自分の事しか考えないうちは交通事故も減らないのではないのでしょうか。



鈴木 高弘さん 会社員 20歳 富士町七丁目二六番地三

他の車に迷惑をかけないように法定速度で走っているのですが、大型車の割り込み、幅寄せ、信号が赤でも交差点に入つて行く等ペタランは、交通ルールに全くルーズですね。

一時停止の所には、停止線が引いているのですが、踏切の所にも停止線があればよいと思います。一時停止違反も少なくないのでないでしょうか。

運転に慣れてくると、どうしても基本を忘れ、違反しがちになると思いますが、私は交通規則を守っていきます。

市民の声

梶別東団地に住んでいますが、不便を感じている、次のことについてお聞きします。

▼ 団地内の水はけが悪いので、雨が降ると水がたまり、子供達が外に出る時濡れてしまいます。市の整備計画は、どうなっているのでしょうか。

◎ 梶別東団地内の排水溝整備・道路舗装は、今年度中に整備す

る計画を進めていますので、しばらくの間辛抱ください。

▼ 梶別東団地付近には、郵便ポストがなく、一番近くの郵便ポストまでもかなりの距離があり、また国道横断という危険もあり、また不便なので、横断歩道を設置していただけないでしょうか。

◎ この地域については、重点箇所として室蘭警察署を通じ、道公安委員会へ、横断歩道(押しボタン式信号機付)設置を申請しています。

◎ 十一月中に梶別東団地内へ、郵便ポストを設置する予定です。昭和五十二年に設置される予定です。

バス停ソーダ工場前で降りても、近くに横断歩道がないため、梶別東団地に渡るのに、危険であり、また不便なので、横断歩道を設置していただけないでしょうか。

◎ 公害防災課

昭和五十二年に設置される予定です。

市民文芸

俳句

惠寿園俳句会
加賀谷みつ
月みちて穂すきダムに影を置く
島山 きわ
虫の声を知らせてくれにけり
中島 ヨシ
門に入ればコスモス揺るる惠寿園
渡辺 晋一
舞う蝶に吾れひとりなり秋蝶

朝顔の窓ふさぎたる夜明かな
市岡 韓一
我が家にて銀河を仰ぐ夜半かな
片桐 サキ
鬼踊果てて見上ぐる天の川
木村錦之助
新涼や芝刈る力加はりぬ
大西 素牛
爽やかに馳けてゆるまぬ犬の綱
市民俳句会
今野 広人
ドラム缶叩き北海盆唄
島山 白翠
学童の声あふれゆく秋の道
紺野 理恵
眉引いて花野の風を誘ふ蝶
佐藤寒帯荘

狩勝の色流しけりはしり萩
小田 草司
湯もみして一番風呂や瓜の花
坂本百合子
寝ぎゆく銭のうた秋の夜
平岡 一林
山葡萄黒きひとみに洩れ日濃し
大西 素牛
岬の端や舞ひては秋の蝶こぼれ
山形 定子
秋深し書架置き替えて娘と二人
佐藤 梅子
秋立ちや浴衣の袖を風ぬけし
土屋 静風
老の顔若き顔あり盆踊
斎藤 鮎村
蟹族に短かき北の夏果つる
青山 薫
添乳する屋台番あり夏祭

短歌

立秋の椅子の脚より影生れ
木村 凍郎
縁濃き木もれ陽車中を影どりて
和泉 寿美
栗の花匂う湖畔を走る
松田 広吉
訪ね来てまた見ることもあるなら
石村すず枝
ん捨てかねて居り娘の古き本
蜘蛛の囲をはらいて明けし廃校の窓辺に近くかつこうを川く
川西久米子
ブロックを積みかけしままの廃屋は畜舎か海霧の濃く流れくる
今田ヒデ子
虫ぼしの庭にコスモス色さえて
亡母の着物に一ひら落ち来
宮武 春枝
暮れなずむポロトの湖は平風きて
岸辺の柳時にゆれおれり
千葉 風雨
台風のうねり沖より盛りあがり
満潮となりし河さかのぼる
渡辺 澄江
いつよりか同じ背丈となりし娘の不意に追い来て笑むを舐しむ

公民館講座に 参加しませんか

家庭生活をより楽しく豊かにするため、あなたも公民館講座に参加してみませんか。

▽着付教室
。期日 十一月二十五、二十七、三十日、十二月四、八、十一、十三、十八日、(計八回)
。時間 午前十時～十二時

▽フラワーデザイン教室
。期日 十一月二十九日、十二月六、十三日(計三回)
。時間 および講師
。昼の部：午前十時～十二時 上田 博子先生
。夜の部：午後十八時～二十時 小野 陽子先生

。講師 工藤 恵子先生
。定員 三十名
。内容 美しい着物の着方とそのコツ、その他(基礎的な体形別補整)
。用意するもの 筆記用具、着物着付け用具一式

消費者ダイヤル市

5局21111内線2116

おわけします(売り)
マイティベター、びた箱、長い寸兼用ベッド、石油ストーブ、ストーブ台および金網、あみ機、風呂用セット(ステンレス浴そう、ふる釜、石油タンク一式)ドラム(楽器)

ゆずってください(買い)
電気オルガン、自転車(各種)ミシン、ベビーベッド、オートバイ(五十匹)冷蔵庫、百科辞典、テレビ(白黒、カラー)石炭ストーブ(貯炭式)風呂用石炭ストーブ、電気のごきり、ギター

卓球大会

対抗卓球大会
。日 十一月二十八日(日)
。時間 午後九時

。場所 市総合体育館

。種目 団体戦、個人戦

。参加料 一チーム 千円(個人戦のみ出場者五百円)

。申し込み先および期限 市役所監査事務局伊藤(電話5局2111 内線319)へ十一月二十六日まで申し込みください。

無料法律相談

札幌弁護士会による、無料法律相談が登録市で行われます。

。借・損害賠償・相続・離婚・公害など身のまわりに起きた法律問題について、お気軽にご相談ください。

。とき 11月29日(月) 13時～16時

。場所 登録市中央公民館和室



おしるせ

年末金融のご利用を

道が中小企業者対策の一環として、例年行なっています中小企業年末金融を、本年も次のとおり行ないますのでご利用ください。

融資対象

市内中小企業者（中小企業等協同組合法に基づく組合を含む）

融資条件

一企業七百万円以内
組合一千万円以内
（転貸の場合は、二千万円以内）

資金使途

運転資金

融資期間

一年以内

融資利率

各取扱金融機関の利率による

担保

原則として担保必要

信用保証

全て道信用保証協会の保証付きとする

保証料率

無担保無保証人保証

年〇・七二割、一般保証年一〇六割
○申し込み期限
十二月二十五日まで

申し込み先

北海道銀行、北海道相互銀行、室蘭信用金庫、室蘭商工信用組合

※その他、不明なことがあります。また、市商工振興係（電話5局2111内線273）まで、お問い合わせください。

「使用目的」を 戸籍謄本等の請求は

十二月一日から戸籍謄本等の交付請求の方法が改正されます。

戸籍を不当に利用して、国民のプライバシーを侵害することのないように改正されるもので、今後他人の戸籍や除籍の謄本等を請求するときは「請求の事由」（使用目的）を示していただきます。

もし、請求が不当な目的による場合は、請求に応じられないこととなります。また、戸籍等の閲覧はできなく

なります。

本人といつわったり、うその事由を示して、戸籍等の謄本の交付を受けたときは、過料に処せられることがありますのでご注意ください。

なお、郵便で請求する場合の手数料は、必ず現金書留か、郵便局の定額小為替で納めてください。

視力障害者婦人部研修会

市内に居住する視力障害者婦人部員を対象に、社会適応訓練研修会を次のとおり開催します。

日時 十一月二十七日 九時三十分～十五時

場所 登別市役所登別温泉支所 二階ホール

研修科目 生花、和洋服、美容作法等の初歩的教授および技術指導

受講料 無料

申し込み先 登別温泉町 西田みしえ（電話4局2414）または、市福祉事務

所保護課庶務係（電話5局2111内線343）へ

水道工事は お早めに

水道部では、申し込みを受けますと、所轄の道路管理者に占用申請を提出し、許可を得てから給水工事に着手することになりますので、二週間程度余裕をもって提出してください。

○工事費は予納制になっています

給水工事の申し込み後、二週間程度経てから、水道部より「給水装置工事費概算通知書」を送付しますので、受取りましたら直ちに、水道部または、概算通知書に記載している指定銀行にお支払いください。

納金あり次第、給水工事に着手いたします。

予防接種

接種上の注意

- ・体温は、必ず家で計ってこること。
- ・母子健康手帳を必ず持参してください。
- ・生ワクチンを投与後、1カ月を経過していない乳幼児は、他の予防接種は受けられません。
- ・はしか、水ぼうそう、おたふくかぜ、3日ばしか、その他重い病気にかかって1カ月経過していない人は、予防接種は受けられません。

対象児

- ・三種混合 第1期 生後24カ月～36カ月未満 第2期 生後36カ月～48カ月未満
- ・インフルエンザ 生後36カ月以上の希望者（ただし、15歳以上の方は1回につき400円です）
- ・ジフテリア 小学校卒業6カ月前の児童

実施場所	時間	予防接種名		
		三種混合	インフルエンザ	ジフテリア
ひまわり園	1:00～1:30	12月1日	11月17日 12月1日	
鷺別公民館	1:45～2:15	12月1日	11月17日 12月1日	
児童会館	1:00～1:30	11月30日	11月16日 11月30日	
中央公民館	1:00～1:30	11月18・25日・12月2日	11月18日 11月25日	12月2日
登別公民館	1:00～1:30	12月1日	11月17日 12月1日	
登別温泉公民館	2:00～2:30	11月30日	11月16日 11月30日	

健康相談

実施日および場所

- 12月2日 中央公民館
- 12月6日 鷺別公民館
- 12月16日 中央公民館
- 12月20日 登民会館

受付時間

- 午前の部…10時～10時30分
- 午後の部…13時～13時30分

内容

- ・午前の部…成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談（1歳以上）
- ・午後の部…赤ちゃん相談（6カ月・9カ月児）その他相談のある乳児（1歳未満）

○水抜き装置の点検を

冬期間使用する水抜き装置に異状ありませんか。水が完全に落ちなければ凍結の原因になり、また故障の原因にもなりますのでご注意ください。

水が落ちる場合は、音響がしますのでお試しください。

冬期間以外でも毎月一～二回位は水抜き装置を操作し、漏水と故障の原因をなくしましょう。

水源には限りがあります

水を大切に使いましょう。

11月は技能尊重月間です

『あなたは技能士ですか?』
と尋ねましょう



ご寄贈ありがとうございます

ごさいます

＜社会福祉協議会へ＞

○愛情銀行

秋本慧殿・五万円、山名利雄殿 二千五百円

○物品寄贈

宮川成旭子殿・衣類十五点、水原国弘殿・衣類八点、木村千代子殿・衣類三十点、福田仁三郎殿・靴類十八足、匿名・布団カバー一五枚

○古切手寄贈

国立病院患者自治会殿・三百枚 持丸虎太郎殿・三百四十五枚、加地鉄工所殿・千二百枚、市役所社会課殿・七百枚、上原自工殿・百八十枚、市役所市民税係殿・千六百五十枚、札内中学校教職員殿・八百枚、観音寺ニースホテル殿・三千枚